

8、葦原神社

〔社名〕 アシハラノヤシロ

風土記に葦原社、又葦原社、又葦原社とある。

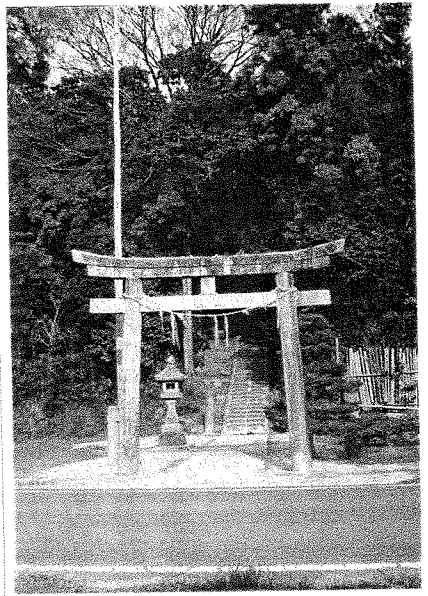
〔所在〕 後藤蔵四郎氏の「風土記考證」に「今は西西郷さいさいがうのもの熊野社に合せ祀りて、葦原社と名づけてある。」とし又加藤義成先生の「風土記参究」にも「今は西郷に葦原神社があつて葦原醜男命しこう（大穴持命の別名）を祀る。」とある。

一畑電鉄平田駅下車。バス県道北浜・河下・鰐淵線徳雲寺前下車五分。

〔鎮座地〕 平田市西郷町宮ノ前一三七

〔祭神〕 「出雲風土記参究」に葦原醜男命（大穴持命の別名）を祀る。とし「神国島根」にも葦原醜男命となっている。

〔醜〕の語意は「鬼のように強い」という意で、「葦原」は現実の、人間の住む地上の世界」という



意で強く勇猛な男の神のことを表したものである。大国主神の亦の名である。古事記上の大国主神の事績の条に大国主の神は五つの御名があるがその内の亦の名が「葦原の色許男しこをの神」と記されている。

〔由緒〕 昭和五十六年刊（島根県神社庁）の「島根の神々」では、「永録九年註1に高内弾正が熊野の社に葦原の社を併せ祀り、同年九月七日大藏之丞久吉が移転遷宮を行ったとしている。

〔神職〕 現宮司は河瀬正美氏である。

〔祭祀〕 十月十日

〔氏子崇敬者〕

〔境内地〕

〔社殿〕 本殿、入母屋造、本殿と拝殿の間に二間半の通殿がある。

〔神紋〕

註1 永録九年 一五六六年